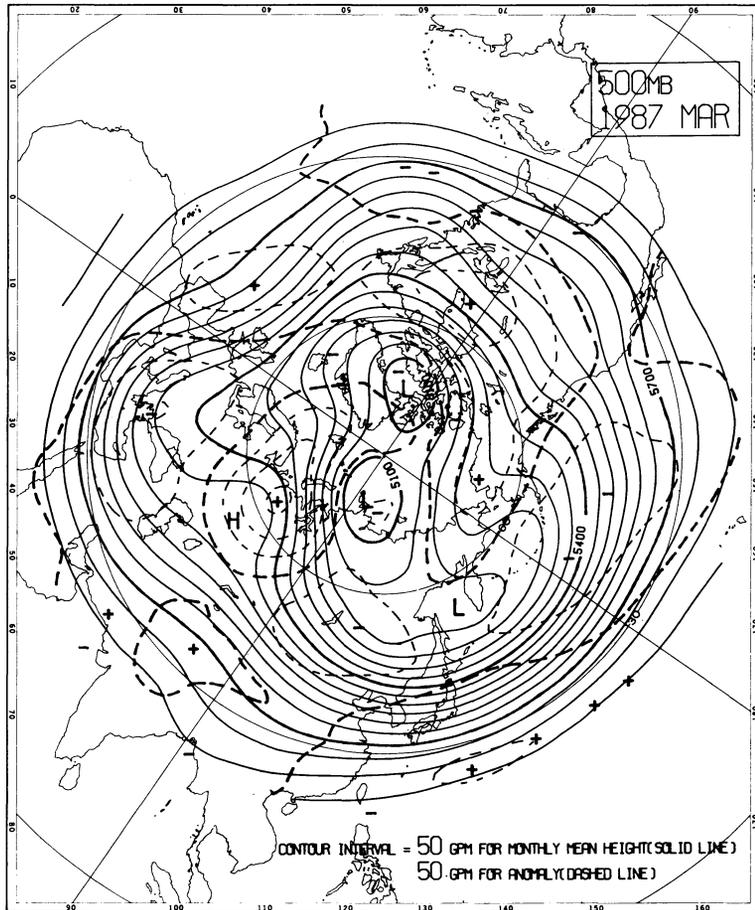


月平均 500mb 天気図。1987 年 3 月

(破線は平年からの偏差。単位m)



昭和62年 3月の気候表

地 点 名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD ℃	降水量 ミリ	比率 %	降 水 級	降 日 数	地 点 名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD ℃	降水量 ミリ	比率 %	降 水 級	降 日 数
ストックホルム	-4.0	-3.3	-1.1	22	85	3	5	カサブランカ	15.0	0.3	0.3	36	65	2	4
パリ	4.5	-2.7	-1.6	62	194	5	14	ニオロドサヘル	28.7	-0.2	-0.3	0	—	—	0
ベルリン	0.5	-3.4	-1.5	27	90	3	8	アジスアベバ	—	—	—	—	—	—	—
ローマ	9.8	-1.1	-0.8	19	37	1	4	プレトリア	21.7	2.2	2.8	103	114	4	11
アテネ	—	—	—	—	—	—	—	アンカレッジ	-2.9	1.9	0.6	4	31	1	2
モスクワ	-5.3	-1.1	-0.4	19	58	—	7	バンクーバー	8.0	2.2	2.0	143	149	5	13
イルクーツク	-10.3	-1.0	-0.4	7	78	3	3	ニューオリンズ	15.6	-0.2	-0.1	112	82	3	6
オデッサ	-3.5	-5.2	-2.2	15	75	3	4	セントルイス	9.4	3.2	1.1	55	71	2	7
ニューデリー	23.3	0.4	0.3	20	118	4	3	サンフランシスコ	12.8	1.0	0.4	50	74	3	9
カルカッタ	27.8	-0.1	-0.1	10	37	3	2	ニューヨーク	7.2	2.3	0.9	113	106	4	6
ボンベイ	27.7	0.8	1.1	—	—	—	—	マナウス	26.5	0.7	1.8	277	92	2	14
ホンコン	21.3	3.1	2.2	234	334	6	5	リオデジャネイロ	25.6	0.1	0.1	63	44	1	6
チャンチュン	-5.1	-1.3	-0.5	20	200	5	5	ロサリオ	21.4	1.0	0.9	247	179	5	8
ベキン	4.1	-0.3	-0.2	13	144	4	5	ホルル	23.3	0.6	0.7	4	5	1	2
シャンハイ	7.9	-0.4	-0.3	133	164	5	14	タヒチ	28.3	1.8	2.6	69	57	2	8
バンコク	29.5	0.3	0.4	41	121	—	1	ダーウィン	29.1	0.8	1.1	93	34	1	9
マニラ	27.3	0.1	0.1	0	0	1	0	キャンベラ	15.9	-1.6	-2.0	30	50	3	4

3月の世界の天候

① 東アジアの多雨

揚子江は1月からの上流の雨不足のため、110年ぶりの渇水になったことが伝えられたが、中国東部と西日本では多雨（2倍）となり、中国の穀倉地帯での稲の栽培に好適となった。

② 中国南部・東南アジアの高温

中国南部からフィリピン、マレー半島にかけて高温（ $+1\sim+3^{\circ}\text{C}$ ）であった。

③ ヨーロッパの低温・西欧の多雨

月平均500mb天気図にみられるように、ヨーロッパはトラフとなり、寒気が入った。このため、ヨーロッパはイベリア半島を除いて低温（ $-2\sim-6^{\circ}\text{C}$ ）となった。上旬にはアテネに30年ぶりの大雪が降り、イスタンブールは今世紀最悪といわれる吹雪に見舞われた。この寒波により、ギリシャでは1週間に15人の犠牲者がでたことを外電は伝えている。スペインでは少雨（0~40%）のため農作物に被害がでたが、一般的に西欧は多雨（2倍）であった。

④ アフリカ南部の高温

アフリカ南部では昨年12月から引き続き高温（ $+1\sim+3^{\circ}\text{C}$ ）になった。

⑤ カナダ南部・アメリカ北部の高温

月平均500mb天気図ではアラスカから大西洋にかけての広い領域で正偏差となっている。北米北部の正偏差は昨年12月から続いている。カナダ南部からアメリカ北部にかけては、2月に引き続いて高温（ $+2\sim+6^{\circ}\text{C}$ ）であった。特に、上旬の温暖で湿潤な天候は、アメリカの穀倉地帯の穀物の成長を促進した。

⑥ アメリカ東部の少雨

五大湖地方からアメリカ東部にかけて依然として少雨（10~70%）が続き、1月から3月までの降水量も全般的に平年の70%以下となっている。

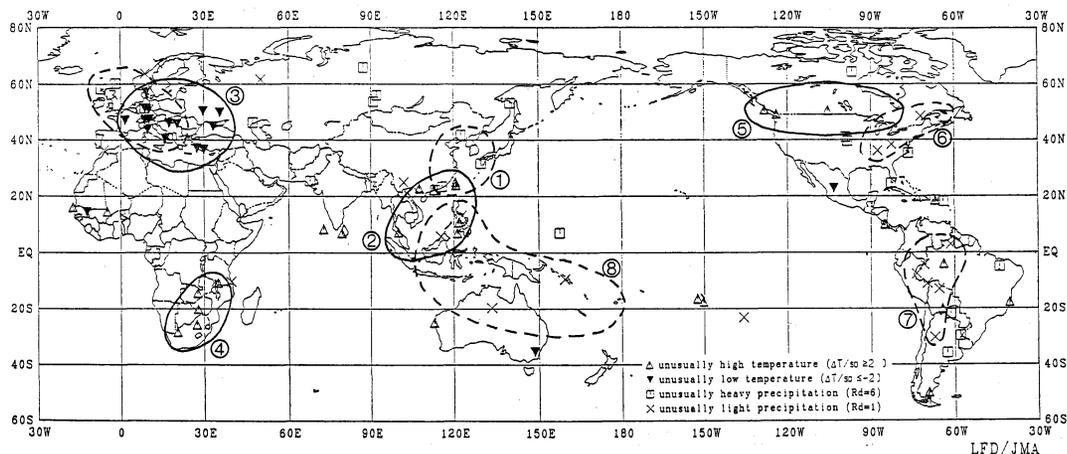
⑦ 南アメリカ中部の少雨

ブラジルでは西部は少雨（10~70%）であったが、中部から南部は大豆の生産に好適な天候に恵まれた。

⑧ 西部熱帯太平洋・オーストラリア北部の少雨

降水をもたらす対流の活発な領域が平年より東に寄ったため、フィリピン、ボルネオ、オーストラリア北部、フィジー諸島にかけての広い範囲で少雨（10~40%）となった。

（気象庁長期予報課 松林繁樹）



異常天候発生地域分布図（1987年3月）

（注）これは、気象庁長期予報課作成の気候系監視報告から抜粋したものです。詳細はそちらを御覧下さい。
（山田真吾）